経済産業省
近畿経済産業局

VOL . 20

KIZASHI

［関西おもしろ企業事例集　- 企業訪問から見える新たな兆（きざし）- ］

Jan/2023

KIZASHI

[関西おもしろ企業事例集　- 企業訪問から見える新たな兆（きざし）-]

経済産業省近畿経済産業局は、近畿2府5県（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）における経済産業施策の総合的な窓口機関として年間1,000件以上、地域企業の実態把握や施策立案のための企業訪問を行っています。

関西はものづくりからサービスまで進取の気風をもって、特色や強みを備えた彩り豊かな企業が多数立地しています。その中にはエンドユーザーの目に届くことが少ない加工産業や、部品製造で独自技術をもって果敢に挑戦する「おもしろい」企業がたくさんあります。そんな企業に出会えることも私たちの強みの一つです。

当局では、そんな企業の挑戦を、より良い未来を見据えた変化への「兆し」と捉え、広く世の中にその兆しを届けるために「KIZASHI　[関西おもしろ企業事例集　- 企業訪問から見える新たな兆（きざし）]」として、作成、公表しています。

Information　- Vol.20-

今回の「KIZASHI vol.20」では、記念すべき創刊20号目として「不変と可変　- 揺るぎない価値観、絶え間ない挑戦-」をお届けします。

エネルギー価格や金利の動向を含めたマクロ経済の変化、中長期ではデジタル・グリーンなど、中小企業を取り巻く環境が激変しています。そのような環境変化に対応するため、不断の自己変革に取り組む企業の挑戦を支えることが経済産業省に課せられた使命です。

そこで今回は、事業環境の変化を前向きに捉え、絶え間ない「挑戦」を続ける中小企業11社に対し、当局の次世代を担う若手職員がインタビューを実施し、その「挑戦（可変）」の裏に宿る、揺るがない「価値観（不変）」を大切にしている姿を発見しました。

不確実な未来の中でも、自身の価値観を信じ、不断の挑戦を続ける企業のリアルを、是非手に取ってご覧ください。

2023年1月

近畿経済産業局　中小企業政策調査課

CONTENTS

001 INFORMATION

003 株式会社浪速工作所
技術で新たな価値を生み
世界中を笑顔に

005 株式会社たびぞう
とにかく人を喜ばせたい！
お客様の声から地域の魅力発掘を

007 ハンワホームズ株式会社
”価値のある空間”で暮らしを変える
地域とともにDX -Digital/Deposで変革（X） -

009 株式会社インテリックス
独自のビジネスモデルに
攻めと守りのＤＸを融合

011 柏原計器工業株式会社
暮らしに必要不可欠な
「水」の明日を発明する

013 株式会社千石
技術を受け継ぎ、育て、守っていく。

015 カネエム工業株式会社
独自の技術から生まれる製品は無限大
機能性とデザイン性を両立したパーツ作り

017 株式会社積進
大切なのは「モノづくりが好きかどうか」

019 株式会社アロマジョイン
香りで情報の質を高め、
コミュニケーションを豊かにする

021 株式会社ヤマナカゴーキン
やりがいをもって常にチャレンジ

023 株式会社クリーン精光
確かな加工技術”made in cleanseiko”
が生みだす確かな品質

025 編集後記・バックナンバー

note × 経済産業省 近畿経済産業局

近畿経済産業局が発行する企業事例集「KIZASHI」の公式noteを運営しています。この「KIZASHI」公式noteでは、これまでpdfで発行した「KIZASHI」の記事をnoteに掲載し、企業様の変革の兆しが多くの人の目にとまる情報発信を進めていきます。

KIZASHI公式note（外部リンク）

KIZASHI 07

カネエム工業株式会社

パーツの未来を作る　#機能性とデザイン性の両立　#工場×エンターテインメント

独自の技術から生まれる製品は無限大
機能性とデザイン性を両立したパーツ作り

カネエム工業株式会社　代表取締役社長　島田　真輔

「留める」金属パーツの製造と発展

靴の紐を通すための穴の補強や、アパレル用品のデザインの一部としても使用される「ハトメ」。大阪府八尾市にあるカネエム工業株式会社（以下「カネエム工業」）は、我々の日常生活に溶け込む小さなパーツ作りから出発した。

1947年の創業当初は、3種類のハトメのみを製造していたが、1970年代の若者のジーンズブームを契機に、当時の社長がジーンズリベット（※）の将来性を見込み、従来のリベット作りの技術ではなく、今ある自社の技術を活かして製造できないかと研究開発に着手。数年にわたる試行錯誤の末、従来品と比べて低コストかつ強度にも優れたジーンズリベットの大量生産に成功し、国内のジーンズ縫製工場のみならず、欧州各国を中心に爆発的な人気を博した。

現在では、アパレル業界のみならず自動車業界や建設業界においても、副資材メーカーとして多種多様な製品を提供している。

フルオーダーのパーツ製作を可能にする技術力

従来のリベットは線材から加工

（※）ジーンズリベット：主にジーンズ（デニム）のポケット部分の隅に取り付けられている金属製のパーツ。
ステッチ部分を補強する役割とデザイン性を向上させる役割がある。

カネエム工業株式会社

するのに対し、カネエム工業では真ちゅうなどの板材から、複数の工程を連続で行う順送プレス加工によって成形する。この製法でのリベットの製造は当時、カネエム工業が世界に先駆けて開発したもので、従来の線材加工のものに比べて少ない工数ですむほか、生地の繋ぎ留めなどの機能面においても優れたモノとなっている。

近年では、デザイン性に対するニーズも多様化しているとのことであるが、カネエム工業は金型の製作から、プレス・組立・表面処理までの一貫体制で生産を行うため、顧客の要望にきめ細やかに応えることができる。島田社長によると、高品質のパーツをいかに安定して大量に作るかを追求することが、顧客との信頼関係を築く秘訣となっているという。

順送プレス機

パーツ業界に新しさとエンターテインメントを

パーツ業界にもトレンドがあり、海外市場や顧客の要望からいち早く流行を取り入れ、商品へ反映させることが求められる。先代から積み重ねてきた技術力と、パーツ作りに対するこだわりを維持し、常に新しさを追い求めることこそ、カネエム工業の強みの1つである。特に、塗装や表面処理加工においては、海外の同業他社の手法を参考に研究を重ね、約150種類の仕上げ色を展開している。鍍金業者には再現できない微妙な色合いや、最新のニーズにも応えられる表面処理を行うことができる。

今後、自社の商品や技術力をさらに広めるために、パーツ業界にエンターテインメントの要素を取り入れたいと経営企画室長の北村氏は語る。技術力以外の部分、すなわち「アイデア」と「営業力」に着目し、異色の組み合わせを工場に取り入れることで、幅広い認知の獲得と販路拡大を目指す。そのための土台として、InstagramやYouTubeといった各SNSでの広報に注力し、オープンファクトリー等のイベントにも積極的に参加をしている。

また、北村氏によるとデザイン性の高い金属パーツを開発できる強みを活かして、音楽やボードゲーム関連等のエンターテインメント市場への参入も検討しているという。副資材という性質を超えて、それだけでブランド化して売ることができないかを考え、日々試行錯誤を繰り返す。2022年で創業75周年を迎えたが、今後はマーケティングにもさらなる磨きをかけ、パーツ業界に革新を起こすべく、新しさとエンターテインメントへの挑戦を続ける。

我々の日常生活に溶け込む小さなパーツの裏側には、パーツの未来を作る人々の想いと、世界に誇る繊細な技術が隠されている。

幅広い製品に利用されるハトメ

カネエム工業株式会社

・設立：1947年
・資本金：4,500万円
・従業員数：43名
・業種：金属製品製造業
・所在地：大阪府八尾市泉町1-93
・URL：http://www.kanem.com/